

会議録

会議の名称	第3回加東市総合戦略策定推進会議
開催日時	平成29年12月20日（水）午前9時30分～午前11時20分
開催場所	加東市役所 2階 201会議室
議長の氏名（座長 庭瀬敬右） 出席及び欠席委員の氏名	<出席委員> ・庭瀬敬右 ・西山芳博 ・生頼和也 ・多田実乗 ・田中秀和 ・田中博美 ・中野剛志 ・中山江津子 ・新谷浩三 ・長谷川智子 ・藤井良憲 ・別府みどり ・本山早苗 ・吉田実宏 <欠席委員> ・大西淳司
出席した市の職員【事務局等】の氏名及びその職名	・地域創造部・部長 藤川・地域創造部まち未来課・課長 小林 ・地域創造部まち未来課・副課長 藤原・地域創造部まち未来課・主幹 時本 ・地域創造部まち未来課・担当 新庄・地域創造部まち未来課 久後
市の職員【事務局以外】	出席なし
1 議 題	(1)加東市人口ビジョンの改定（素案）及び第2次加東市総合戦略（素案）の策定について (2)今後の予定について
2 会議資料	【資料1】加東市人口ビジョン改定（素案） 【資料2】第2次加東市総合戦略（素案） 【資料3】今後の予定について
3 会議の経過	⇒別紙「第3回加東市総合戦略策定推進審議会・会議の経過」のとおり
平成 30 年 / 月 / 日	座 長 庭瀬敬右 職務代理者 西山芳博

(別紙) 第3回加東市総合戦略策定推進会議・会議の経過

発言者	会 議 の 経 過 / 発 言 内 容
座長	1 開会 ○資料の確認 ○会議成立の報告 2 挨拶 ○座長より挨拶 3 協議事項 ●加東市人口ビジョンの改定（素案）及び第2次加東市総合戦略（素案）の策定について ○加東市人口ビジョンの改定（素案）【資料1】について事務局より説明 【質疑応答等】 ・加東市人口ビジョンの改定(素案)の説明に対して質問や意見を伺いたい。主にこれまでの資料からの変更点について説明されたが、子ども3人以上の世帯の減少、人口減少による地域コミュニティの維持の困難、高齢化による介護費用の増加、総合計画との整合性、産業、まちの魅力、にぎわいをどうするかという課題に対して、結婚・子どもの増加、時代の流れに沿った災害に強いまちづくりという内容である。資料に沿って質問等を頂きたい。
委員	◆ P23「小売業の事業所数及び従業者数」の近年の増加要因について ・P23の小売業の事業所数及び従業者数について、2012年から2014年にかけて増加しているが、この要因を掴んでいるのか。
事務局	・経済センサス等からデータを引っ張っており、増加の要因として明確なものは掴んでいないが、2009年のリーマンショック等の影響から、全国的に2007年から2012年にかけて大きく減少しているという状況の中で、そこから徐々に日本経済も回復している途中段階で、2014年にかけては増加に転じているという解釈を行っている。
事務局	・補足として、商業統計調査や工業統計調査が経済センサスに替わり、調査の方法が変わったということも1つ、影響していると考えられる。
座長 事務局	◆ P10 出生率の変動について ・P10の子どもが2人目、3人目と増えていないという状況の要因分析は？ ・本市のみではなく全国的に2人、3人、それ以上の子どもの出産数は減っているという状況であり、経済状況や雇用の関係など、安定して生活できる確証がないという背景の中で、このような結果になっていると解釈している。また、日本における人口維持ができるとされている人口置換水準は2.07という数値、簡単に言うと、女性1人当たり2.07人の子が必要という中で、2人、3人、それ以上の出生数がデータでは実現されていない。総合戦略において、そのような対策及びまちづくりに取り組んでいきたいと考えている。
座長 事務局	・子育ての環境としては良い？ ・本市においては現状待機児童ゼロで推移しており、3つの児童館を保有するなど子育てしやすい環境はあるが、出生率や子どもの数が、子育て環境が良いからイコールというわけではなく複合的な要因も関わってくるので、様々な観点をもって環境づくりに取り組んでいきたいと考えている。
座長 事務局	・出生率の全国平均に比べて加東市はどのような状況か？ ・出生率の全国平均は1.45、北播磨平均は1.52、加東市は1.68で北播磨トップタイで数値的には良いが、人口置換水準の2.07には届いていないという状況である。

委員 事務局	◆ P27 合計特殊出生率の設定について ・27ページの将来人口推計だが、合計特殊出生率の前提条件について、数字が先にありきな感じがする。もう少し詳しく教えてほしい。 ・合計特殊出生率の1.68が2040年まで続くというのは、あくまで前提条件であり、ひとつのポイントとして、人口維持が可能な2.07という数値がある。全国的な動向を見ても、この数値の実現がなかなか難しいという実情となっている中で、本市においては、2015年の国勢調査の実績値1.68が高い数値であるので、2040年まで維持しようという目標という意味も込めて、この数値設定としている。ちなみに、国立社会保障人口問題研究所が予測している本市の出生率は1.47～1.48での推移となっている。
座長 事務局	・推計なので上がるか、横ばいか、下がるかということ。加東市としては全国的には良い数値なので、維持するということ。上げていくことは難しい？ ・もちろん、上げていくことが望ましいが、現実的な数値として、全国、北播磨、本市の値などを勘案し、1.68の維持という数値設定を行っている。
委員 事務局 委員 事務局	◆ P28 人口推計における外国人の人口について ・推計や全体的な数値について外国人の数も含まれているのか。 ・含まれている。 ・その中で、外国人の数は把握しているのか？ ・外国人の方々の人口は1ヶ月単位でデータ収集している。合併以来急激に増えたが、ここ最近横ばい。増えた要因としては工業団地の就業等の影響が大きいと考えられる。今後は基本的にあまり増えてはいかないのかなと考えている。後ほど総合戦略でも説明するが、新たな工業団地の誘致施策もあるので、今後、外国人の方々の動向も注視しながら計画の策定に取り組んでいきたいと考えている。
座長 事務局	◆ 総合戦略への人口ビジョンの反映について ・加東市としては外国人にも来てほしいという部分もあるのか？ ・市として外国人ウェルカムと打ち出しているわけではないが、日本人の方、外国人の方という区別なく、住んでいる方が住みよいまちを目指していきたいと考えている。
座長 事務局	・外国人の方の就業の場などはどのような状況か？ ・飲食店やコンビニエンスストアでよく見かける状況である。日本語教室へ通われている方への調査によると、病院関係、行政の手続き等についてわからないという意見もあったので、英語、中国語、ベトナム語、スペイン語のガイドブックを作成し、生活しやすい環境づくりに取り組んでいる。
座長 事務局	・人口ビジョンは総合戦略にどういう形で反映するのか？ ・基本的な考え方として、人口ビジョンは各地域の人口動態を分析したものであり、例えば都市部と地方部では交流人口や昼夜間人口の数など、人口動態も大きく違い、展開施策も当然ながら違ってくる。加東市の人口動態に応じた、人口減少対策施策を総合戦略によって展開し、施策推進によって人口ビジョンの人口の将来展望、2040年における本市の目標人口である37,300人を達成を目指すという位置付けである。
事務局	・補足として、人口ビジョン策定後、様々な部局で活用していく資料としている。例えば、高齢部局であれば、高齢者が今後どのような推移をしていくのかという資料として使用するなど、全庁的に使用していく予定としている。
座長	○第2次加東市総合戦略（素案）【資料2】について事務局より説明 【質疑応答等】 ・ただ今の説明について意見を伺いたい。説明は前半と後半に分かれており、前半はSWOT分析によって加東市の内部要因と外部要因の「強み」と「弱み」を明らかにし、「弱み」を「強み」に変え、「強み」をさらに伸ばしていくためにはどうするかということが書かれている。後半は、基本目標を4つ掲げて、それぞれに対して具体

	的な施策が提案され、それを評価するために、数値目標のKPIを使って目標に向かって施策を行うという話だったと思う。将来計画として具体的に提案されていると思うので、これに関してご意見を頂きたい。
委員	◆ 「強み」「弱み」による分析の独自性と、就労相談窓口の件数について ・SWOT分析の中で強み、弱みなどの分析は他市町についても行っているのか？
事務局	また、p20の就労相談窓口というのはハローワークのことか？別のものか？
事務局	・他市町におけるSWOT分析の実施状況として、行っている自治体もあるし、行っていない自治体もある。就労相談窓口というのはハローワークとは別のものである。
座長	・就労支援センターは福祉センターの2階にあり、専門員が常駐している。専門員は、相談に来られた方の就業サポートや、企業に伺い相談状況等を報告するなど、ハローワークとも連携しながら情報共有等を行っている。これについては本市独自というわけではない。
事務局	・ハローワークと就労支援室の違いは？ ・ハローワークは就業までのあっせんを行っているのに対し、就労支援室はあっせんまでは行っていない。
委員	◆ 観光客に対する移住定住促進の施策について ・観光客の方に対する具体的な移住定住施策は何かあるのか？
事務局	・移住定住について、昼夜間人口比率が1.1倍という中で、加東市の良さをPRしていきこうとしており、移住定住のプロジェクトチームを立ち上げ、効果的な施策を検討している段階である。
委員	◆ SWOT分析と施策の関係について ・総合戦略の基本的方向として、強みを伸ばし、弱みは強みへというものと記載しているが、基本目標が4つある中で、どれが強みでどれが弱みなのか分からない。
事務局	・基本目標の中に、施策や作戦がヒモ付いている中で、前段のSWOT分析や総括を踏まえ、例えばp11「強み×機会」に記載している「働く場の創出」はp20の(1)しごと創出作戦にヒモ付いており、強みを更に伸ばしていく。次にp11「弱み×脅威」に記載している「公共交通の整備」はp27の(2)公共交通網整備作戦にヒモ付いており、弱みの改善に取り組む。こういったように、強みや弱みについては作戦レベルで反映し、そのうえで、各作戦ごとに今後の取組方針、スタンスを分けて記載している。
委員	・p21の交流人口拡大作戦、加東市の強みを活かした施策なのか？
事務局	・市の強みとしてゴルフ場がある。また、p10にも記載しているが、観光資源も多くあり、これらの強みを活かした施策を展開し、交流人口の拡大に取り組むということである。
委員	◆ P19 「企業立地・定着促進作戦」における製造品出荷額の指標設定について ・p19、KPIで製造品出荷額等が挙げられているが、これに関して市が何かできることはあるのか？
事務局	・製造品出荷額は、企業様の努力によるところが大きいですが、あくまで1つの企業を見るのではなく、企業立地等により、加東市全体としての製造品出荷額を上げていくという意味で挙げている。
委員	・そういうことなら、企業立地数とかそのほうが適切ではないかと考えるが、検討していただきたい。
事務局	・KPIの基本的な考え方として、各作戦にヒモ付く事業に取り組んできた結果、こういう成果に繋がりましたという、成果指標を挙げている。ただ、各作戦にKPIを設定するうえで、毎年度検証ができる数値という縛りの中で各課と調整を行いながら設定しているので、こういうことに取り組みましたという行動指標になっているものもある。おっしゃられたような指標が望ましいことは理解しているが、可

	能な範囲で調整しながらKPI設定をしていることをご理解いただきたい。
委員	◆ P25 特色ある教育作戦の具体策について ・P25英語教育の充実でどんなことをしているのか？また、指標の「英検3級相当以上の英語力を有する中学3年生の状況」の目標数値の達成に向けてどのような取組を行うのか。
事務局	・本市独自の取組として、例えば英語検定の受験費用の助成があり、そのほかにもALTの配置等も行っている。また、今後も引き続き取組を継続することに加え、ALTの配置人数増加等、既存の取組を拡張させていくこととしており目標数値の達成を目指していく。
委員	・ICT教育における、今後のプログラミング教育に対応していく人材教育についてどう考えているか。
事務局	・時代の流れを勘案しながら、教育委員会のほうで順応できるような対応をしていくこととしている。
委員	◆ 具体的な手段・手法の考え方と、目標値の裏付けについて ・具体的な手段・手法が見えない。総合戦略の施策展開は、現状行っている事業に加えて、更に新しいことに取り組んでいくという理解で良いのか？また、目標値について、どこからきている数値なのか？
事務局	・手段・手法について、最上位計画である総合計画の実施計画が、具体的にどういう手段で取り組んでいくのかということを記載したものであるもので、これと整合を図りながらアクションプランを作成し推進に取り組んでいく。総合戦略では、こういうことの達成を目指して、こういうことに取り組むという、大きな枠組みでの記載なので、具体的な手法や手段等について実施計画（アクションプラン）の中で記載することとしており、来年度初旬に作っていく予定としている。
委員	また、指標の設定根拠については、例えばp24の(1)子宝すくすく作戦の乳幼児健診受診率について、これは法定健診なので目標値を100%としている。育児教室受診率は、あくまで任意参加のものであり、現状値が92.7%と高水準なので、これを維持しようという中での目標値設定である。この場で全ての指標について説明することは時間的に難しいが、各指標についても担当課が根拠を持ち設定しているものである。
事務局	・現行の戦略を踏まえて出てきている指標か？
委員	・第2次総合戦略は現行の総合戦略の総括等を踏まえた改定版ということ。具体的にどういう取組を行っていくのかは、総合計画の実施計画と整合を図りながらアクションプランを作成し、毎年度ローリングを行いながら見直しを行っていく。
事務局	・この計画だけ見ると、本当に達成出来るのかと思う。企業では、具体的な手段や手法を3年間、1年間、半年間と分割して考えながらしている。今後、更に深く考えながら取り組んでいただきたい。
事務局	・本市においては総合計画で実施計画の達成状況について、4半期ごとに検証しながら、その時点での方向転換等を行っているので、どのように取り組めば効果的か検討しながら推進していく。
座長	◆ P22 空家バンクの目標値について ・空家バンクの現状値が「一」であるのは、空家バンクを新しくするからか？
事務局	・空家バンクは平成29年度からの制度で、それ以前は空き家登録制度という名称でやっているのので、「空家バンク」での運用は今年度からということで「一」としている。
座長	・目標値は空家バンクとして市があっせんしたもの？
事務局	・空家バンクの登録数ではなく、それを活用した件数としている。
座長	・市外から来られて活用された件数か？
事務局	・それが望ましいが、市内の方が利用されるケースもあると想定はしている。市外の方のみとすることはなかなか難しい。

委員	◆ P19 新たな工業団地と、P22 地域団体等への活動支援による雇用創出について ・ p19「工業団地の誘致」について、すでに市内には工業団地がたくさんあり、それに伴う雇用もあると感じている。確かに、人口増加に向けた取組としては必要なのだろうが、財政的な支出も必要であるし、これ以上工業団地が必要なのか？それとP21「中間支援組織の地域団体等への活動支援件数」が具体的に何を示すのか。NPO法人等への支援か？
事務局	・ 工業団地については南山の工業団地が完売になり、企業の意向調査も行い、本市なら立地を考えるとという企業もある状況。雇用の部分について、南山の工業団地では数百人規模の雇用が見込めないから進出を断念したというケースもあった。財政負担等もあるが、市としては何としても実現したいという思いなので、色々な条件を勘案しながら取り組んでいきたいと考えている。 - また、中間支援組織は「まちの拠点づくりコンソーシアム」のことで、Bio 2階などで何らかの自主事業を開催される任意団体などを、お手伝いをしていくということを指している。
座長 事務局	・ 具体的に活動支援とは？ ・ インスタグラムやフェイスブックによる自主事業開催の周知や、場所の貸し出し、運営の相談などである。
委員	◆ P24 乳幼児健診受診率の現状把握と目標達成に向けての取組について ・ p24乳幼児健診受診率の現状値と目標値の差、1.2%の要因を把握しているのか？また、目標値の達成に向けて具体的にどう取り組んでいくのか？
事務局	・ 担当課が把握している要因として、例えば法定健診とは言っても、対象者が500人いると、数名は何らかの用事などで参加できないことがある。案内についてはきちんと行っているが、100%の達成は1人でも受診できなければ達成できないので、難しい部分として捉えている。また、目標値の達成に向けて、新たに何か取り組むということは今のところ予定はしておらず、現状の取組を継続していくこととしている。
委員	◆ P24 出産の障壁について ・ p24(1)子宝すくすく作戦の中で、妊娠、出産を望む世帯に対する経済的負担の軽減、と記載しているが、児童館に来られている方々は2人、3人出産している人もいる。しかし、働かないといけないという理由などで1年、2年で児童館に来なくなる人も多い。そのあたりの理由から、子どもは1人だけという人も多いのではないかと感じている。経済的に支援するような対策があれば、人口減少に対して効果的なのではないか？
事務局	・ 基本目標③の中で妊娠、出産、子育ての支援には取り組んでいくが、言われたように雇用や経済的な要因も出生数には絡んできている。総合戦略の考え方として、しごと、出産、子育て、出産後の地域コミュニティの形成など、トータルの取組によって、安心して子どもを出産し、住み続けることができまちを目指しながら施策の推進を行っていく。
座長	◆ P11 「弱み」における医療体制の充実の内容について ・ p28(2)医療の充実作戦について、これは市民病院のことか、それとも北播磨地域全体のことか？
事務局	・ 市民病院で完結すれば良いが、医師不足などにより、圏域での考え方が必要である。それぞれの病院で役割を分担しながら取り組んでいくということを含めて、圏域での考え方をもって医療の充実作戦に取り組んでいく。
委員	◆ 温泉施設の計画について ・ 東条のレストラン「やまざと」のあたりに、過去に産廃施設の建設計画があったが、これは地域住民の反対によってダメになった。そこに温泉の掘削を行っている富山の業者（永福に営業所がある）がいる。地元住民の説明会も終わったと聞いている。宿泊もできる施設にするとかしないとかいう話も聞いているので、も

事務局	しかすると、温泉施設ができるかもしれない。 ・市として、民間の方々により活性化することは望ましいことである。そのようなものをどう絡めて市のまちづくりに取り組んでいくかが重要だと思っている。
座長	・それでは、これ以降に意見がある場合は意見書に記入して、12月27日までに事務局へ提出していただきたい。
座長 事務局	4 今後の予定について ○今後の予定について【資料3】について事務局から説明。 ・それでは予定した議事をすべて終了したので、閉会とさせていただく。 ・今年度予定している本会議は第3回をもって一旦終了の予定となっている。来年度は、新しい総合戦略に基づいて事業を推進していく。推進体制の検証もこの会議の委員の皆様をお願いしている項目の1つであり、状況を見ながら、会議の招集等を座長と相談して進めていきたいと思っている。その際は改めて通知させていただくので、ご協力をお願いしたい。 ・それでは、これを持って本日は散会とさせていただく。 以 上